

H29年度 情報リテラシー（情報活用能力）体系表

出雲市立今市小学校

| | | 低学年 | | 中学年 | | 高学年 | |
|----------|----------------------|--|------------------------------------|---|--|--|---|
| | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 |
| 図書館 | 育てたい児童像 | ◆読書や調べる楽しさを知り、図書館の正しい利用の仕方を身につけた児童 | | ◆いろいろな種類の本を読み、課題解決に向けて、友達と関わり合いながら意欲的に学ぶ児童 | | ◆目的に応じて、図書館を適切に利用し、学び方を身につけ、課題解決に向けて主体的・協働的に学ぶ児童 | |
| | 図書館の利用 | ○学校図書館の利用の仕方を知る ・場所・設備・掲示物について知る ・本の借り方返し方を知る ・学校司書の存在を知る | ○地域の図書館を利用する ○レファレンスサービスを知り利用する | | | | ○地域の図書館・歴史資料館・郷土資料館・科学館・美術館等を活用する ・コンピューター検索 |
| | 分類・配架 | ○本は仲間分けしてあることを知る ○類を知る(4・9類・絵本) | ○類を知る(4・6・9類・絵本) | ○類を知る(0～9類・絵本) | ○日本十進分類法(NDC)を知る | ○日本十進分類法(NDC)を知る | ○日本十進分類法(NDC)を知る ○類を覚える(0～9類) |
| 課題設定 | | ■知りたいことややりたいことを見つけることができる。 ○学習のめあてをもつ | | ■知りたいことややりたいことをもとに自分の課題を決めることができる。 ○学習計画の立て方を知る ●思考ツールを利用する | | ■解決できそうかを考えて課題を決めることができる。 ○学習計画を立てる ●思考ツールを利用する | |
| 情報の収集 | | ■自分に必要な情報を集めることができる。 ○いろいろな情報源があることを知る | | ■課題解決に必要な情報を選択し、収集することができる。 ○課題を解決するために自分で資料を集める | | ■多様な情報源から課題解決に必要な情報を選択し、収集することができる。 ○課題に応じて資料や情報を集める ○多面的に考える | |
| | 人からの情報 | ○興味をもって聞く | ○人に聞く(マナー) ・短い言葉でメモを取る | ○インタビューの仕方を知る ○メモを取る ・事前に質問の内容を決める | ○メモの取り方を工夫する ・箇条書き ・話の組み立てを意識する ○アンケートを取る | ・質問の答えの予測をたてる | ○聞き取り調査をする ○取材をする |
| | 図鑑・辞典・事典・統計資料等の利用 | ○図鑑にふれる ・目次を見る | ○図鑑を使う ・目次・索引を見る | ○国語辞典を使う ○百科事典を使う ・目次・索引を使う ○ガイドブック・パンフレットを使う ○ファイル資料を使う | ○漢字辞典を使う | ○年鑑を使う ○白書や統計資料集を使う | ○分野別事典を使う |
| | 図表・絵・写真の利用 | ○興味のある図・絵・写真を探す ○絵を読み取る | ○絵地図を読み取る | ○図表・地図・グラフを読み取る ○年表を読み取る | ○広告や説明書を読み取る ○地図帳を使う | ○題やキャプション(記事の見出し・写真の説明文等)を活用する ○地球儀を使う | |
| | 新聞や電子メディアの利用 | | | | ○わりつけや見出しを知る ○小学生新聞を読む ○インターネットを利用する | ○記事を読み比べ書き手の意図を読み取る ・記事の構成・写真の役割 ○メディアの特徴を知る ・メディアリテラシーを身につける ○気象情報を得る | ○説得の工夫を読み取る |
| 情報の整理・分析 | | ■自分に必要な情報を正しく記録することができる。 | | ■情報を整理し、事実、引用や要約、自分の考えを区別して記録することができる。 | | ■情報を整理し、事実、引用や要約、自分の考えを区別して記録することができる。 | |
| | 出典・引用・著作権・参考資料一覧について | ○自分の考えと他の人(資料)の考えを区別する | ○本の名前と書いた人の名前を書く | ○出典について知る ・出版社名を書く | ○引用の仕方を知る | ○参考資料一覧を知る ○奥付を見る | ○著作権を知る |
| | 情報の取り出し | ○ワークシートに書く ・書き抜く ○メモに書く | ○付箋やカードに書く ・短い言葉や文で書く | ○情報カードに書く ○要約する ○あらすじをまとめる | ○箇条書きをする ○引用する | ○要旨をとらえる | |
| | 情報の整理 | ○伝える順序を考える ○情報を比べる | ○理由を考える | ○一番伝えたいことを決める ○書いてあることを整理する ●思考ツールを利用する | ○まとまりをとらえる ・推敲する ○関係づけて読む | ○情報カードを活用する ・取捨選択・順序・構成を考える ○適切な事例や資料をあげる | ○複数の情報を効果的に活用する ○項目ごとに整理する |
| まとめ | | ■自分の思いや考えを大切に、いろいろな表し方でまとめることができる。 ○感想を入れてまとめる * 絵カード | | ■情報を見直ししながら、自分の考えを取り入れ、内容や目的に応じたまとめ方をすることができる。 ○原稿用紙の使い方を知る * 手紙 クイズ 紹介文 | | ■情報を吟味しながら、自分の考えを取り入れ、根拠を示したまとめ方ができる。 ○目的に合わせた方法を選んでまとめる ○目的に合わせて事実と考えや感想を区別してまとめる * 感想文 報告文 依頼文 * 農業ごよみ 関係図 ○自分の考えをもつ * 投書 随筆 | |
| 発表 | | ■まとめたことがよくわかるように発表することができ、友達の発表に感想をもつことができる。 ○いろいろな発表の仕方を知る * 実物 ペープサート * 事物の説明 経験の報告 応答 紹介 感想 ○話を集中して聞き話題に沿って話し合う | | ■まとめたことがよくわかるように工夫して伝え、友達の伝えたいことをよく聞いて自分の考えをもつことができる。 ○相手にわかりやすい発表をする ・資料の出し方を工夫する ○考えの共通点や相違点を考えて話し合う ○意見交換をする * スピーチ | | ■相手や発表の場によって表現の仕方を工夫し、互いの考えを交流することによって自分の考えを深めることができる。 ○役割を考えて話し合う * 案内 ○要旨を意識する ○考えを正しく聞き取る ○資料を活用して説明する ○立場や意図をはっきりさせ計画的に話し合う * ポスターセッション 討論 助言 提案 推薦 読書会 | |
| 評価・振り返り | | ○毎時間あるいは単元後において、学習の過程と結果を評価する(自己評価・相互評価等) | | | | | |

◆育てたい児童像 ■本校の情報リテラシー(H26～H28年度) ○指導事項・指導内容 ●思考ツール *言語活動例

鳥取県教育委員会「学校図書館を活用することで身に付けたい情報活用能力」 参照
松江市学校図書館支援センター「学び方指導体系表」平成28年度版 参照